

(別紙様式2)

真工高第 186 号
平成 28 年 3 月 3 日

栃木県教育委員会教育長 様

栃木県立真岡工業高等学校長

平成 27 年度県立真岡工業高等学校における学校評価実施報告書の提出について

このことについて、栃木県立学校における学校評価実施要綱第 5 条の規定により、下記のとおり提出します。

記

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

- ア 「つもり」学習をやめさせ、「気づかせる」学習を図る
- イ 創造型実践技術者の育成を図る
- ウ 自らの専門性向上を図る
- エ 教職員がお互いに支えあい、明るい職場環境づくり

(2) 評価項目

- ・ 本年度の重点目標を受けて、各部・科・学年において設定した。

(3) 評価の観点、評価基準等

- ・ 評価項目を設定した部・科・学年において設定した。

(4) 評価実施時期及び実施方法

- ・ 年度末、検定試験等については結果が出次第、設定した基準に従って評価した。

(5) 評価結果

- ・ 全 40 項目中、評価 A が 20 項目、B が 12 項目 (A と B とで全体の 80%)

(6) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

- ア P T A 学年部会、P T A 理事会等において、保護者アンケート及び生徒生活アンケートの結果に基づく内容を保護者に公表した。
- イ 学校評価全体の概要を、年度末に本校ホームページ上で公開した。

(7) 実施により改善されたこと

- ア 各種資格試験合格率、P T A 総会への出席率、生徒理解に立った教科指導、就職試験一次合格率等で、数値の上昇が見られた。
- イ 教員の意識向上に役立った等の実感が得られた。

(8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ア 良好な評価であった項目については、現在の状態からさらに向上させていけるよう、評価基準を見直す。
- イ 資格試験等の合格率の結果が良好でなくても、それまでの指導方法や内容で評価していきたい。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

- ・ 学校評議員会を活用した。

(2) 評価実施時期および実施方法

ア 第1回学校評議員会〔平成27年10月5日（月）〕

(ア) 保護者アンケート及び生徒生活アンケートについて報告し、意見をいただく。

(イ) 本校の重点目標に応じた活動内容について報告し、各科の実習を視察いただき、意見をいただく。

イ 第2回学校評議員会〔平成28年2月10日（水）〕

(ア) 自己評価の結果を報告し、ご意見をいただく。

(イ) 各科活動の状況および各部（進路・学習・特活指導部）の年間状況等を報告し、意見をいただく。

(3) 評価結果の公表時期および公表の方法等

- ・ 年度末に学校評価における自己評価をまとめ、ホームページや平成28年度のPTA総会等において公表する。

(4) 評価結果

評議員の方々から、以下のような意見をいただいた。

ア 教員の自己評価は、あくまでも自分自身の評価であるため甘くなってしまう。生徒や保護者、他の教員からも評価してもらい、総合的に判断した方がよいと思う。

イ 地域への情報発信についての取り組みやホームページへのアクセス件数の増加には感心した。地道な活動の成果が出たのではないかと思う。

ウ 就職一次試験の高合格率や内定率100%は、大変素晴らしい。先生方のきめ細かい指導が行き届いていると感じた。

エ 様々な資格取得に取り組んでいるが、在学中に沢山の資格を取得しておくという意識を今後も継続して指導していただきたい。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方法等

ア 今後とも、資格取得をはじめ、技能検定の受験や各種ものづくりコンテストへの積極的な参加を奨励する。また、事前指導などを通じ生徒への支援を十分に行う。

イ 自己評価の方法や基準、目標設定の内容等を再検討していく。

3 学校の情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

- ・ 学校行事予定
- ・ 生徒特別活動実績
- ・ 職員紹介
- ・ PTA活動概要
- ・ 保健室利用状況
- ・ 各科学習内容、活動内容

(2) 提供方法

- ・ 真工高ホームページ
- ・ 中学校訪問（学校紹介）時の資料
- ・ クラス便り
- ・ PTA便り